

仙台塩釜港の将来像・目指すべき方向性

社会変化

論点整理

課題

「物流」の社会変化

- ・国内における人口減少社会と、世界の人口推移
- ・戦争・紛争、パンデミック等によるサプライチェーンの混乱
- ・国内労働人口減少に伴う港湾労働者・船員の労働力不足
- ・物流の2024年問題による国内物流網の変化
- ・第4次・第5次産業革命に伴う国内産業構造の変化
- ・国内農林水産品の輸出産業化や農林水産品の商品価値の変化

- 論点1) モーダルシフトの進展など物流の変化を見据えた東北・宮城の港湾取扱貨物の増加に向けた取組
- 論点2) 人口減少社会における労働力不足に対応する業務効率化・生産性向上にかかるDX等の取組
- 論点4) 東北・宮城のポテンシャルを踏まえた輸出の拡大・促進に向けた取組

「物流」の課題

【課題① コンテナターミナルの取扱機能の効率化・拡充に向けた取組】

【課題② ユニットロード貨物・バルク貨物取扱機能の効率化・拡充に向けた取組】

【課題③ 労働力不足に対応する業務効率化・生産性向上への取組】

「防災・施設維持」の社会変化

- ・切迫性が増す大規模地震
- ・地球温暖化による海面上昇
- ・台風等の強度・頻度の増加による港湾施設・海岸保全施設破損率の増加への懸念

論点6) 他港を含む大規模災害の発生を見据えた防災・減災対策や、BCPIに向けた取組

「防災・施設維持」の課題

【課題④ 国際戦略港湾の支援も視野に入れた広域的な防災港湾の体制強化】

【課題⑤ 海面処分用地の確保検討】

【課題⑥ 港湾施設の老朽化への対応】

【課題⑦ 災害時における船舶と海路（輸送拠点・避難など）の活用】

「環境」の社会変化

- ・温暖化に伴う気候変動と2050年カーボンニュートラル
- ・種の保存や生物多様性保全のための環境保全

論点3) 脱炭素社会の実現に向けた港湾におけるカーボンニュートラルへの取組

「環境」の課題

【課題⑧ 温室効果ガス削減に向けたカーボンニュートラルポートへの取組】

【課題⑨ 海域環境の保全】

「観光・交流」の社会変化

- ・国内の人口減少に伴うインバウンド施策の拡大
- ・広告・通知媒体の変化
- ・観光地におけるスマホ決済やデジタル通貨の利用増加
- ・観光で求められる目的地の変化と消費スタイルの移行
- ・国内におけるインフラツーリズムの推進
- ・東日本大震災からの復興に関する観光・教育旅行の展開

論点5) ウィズコロナ・アフターコロナに向けた観光振興・交流人口の拡大への取組

「観光・交流」の課題

【課題⑩ クルーズ船受入環境とインバウンドの促進】

【課題⑪ マリンレジャーの適正な推進】

【課題⑫ 人流増加に向けた目的地づくりの推進】

一体的な港湾としての利活用の可能性を改めて検討し、更なる発展を目指す。

将来像・目指すべき方向性

将来像

宮城・東北の経済をけん引し、にぎわいと活気にあふれ、自然と共生する強靱な仙台塩釜港

方向性1

<宮城・東北の経済をけん引する港>

- ・物流ネットワークとDXの推進が融合し、求められる港湾貨物の取り扱いに対応できる、宮城・東北の経済・産業を支え、けん引する活力ある港を目指す。
- ・モーダルシフトの進展や船舶の大型化など、港湾を取り巻く環境の変化に対応し、荷主から選ばれる港を目指す。

方向性3

<自然環境と共生する港>

- ・カーボンニュートラルポート形成を推進することで、地球環境に優しく、荷主には選ばれる港を目指す。
- ・自然環境の保全に取り組み、港湾機能と共生する港を目指す。

方向性2

<災害対応に強い強靱な港>

- ・東日本大震災や大規模災害などを踏まえた災害対応力を更に向上させ、頻発化・激甚化する自然災害から地域を守る、災害対応力に優れた安全・安心な港を目指す。
- ・計画的な施設の維持・修繕や施設再編・最適化（スクラップアンドビルド）を行うことで、持続可能で使いやすい港を目指す。

方向性4

<にぎわいと活気にあふれる港>

- ・交流人口の玄関口となる港を目指す。
- ・港周辺が、魅力的な「目的地」となり、多様な人が集まり、にぎわうことができる港を目指す。
- ・沿岸部において連携したツーリズムやマリンレジャーを楽しむことができる、背後地と連携した港を目指す。

